



欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

愛称: グラン・マルシェ

景気回復とともに期待高まる欧州社債 ～ライジング・スター銘柄に注目～

欧州では、主要国の政治リスクが後退し、景況感が改善を強めるとともに、安定的な経済成長が見込まれています。こうした投資環境は、欧州社債に追い風となっており、なかでも「ライジング・スター^(注)」となることが見込まれる銘柄への期待が高まっています。

本資料では、欧州社債市場の動向ならびに当ファンドの着眼点について、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託を運用する日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドの見解をご紹介します。

(注)ライジング・スターとは、信用力の改善によって、投資不適格級から投資適格級へ格上げされる社債銘柄のことをさします。

景気回復が続くなか、欧州社債のパフォーマンスは良好

欧州主要資産のパフォーマンス(ユーロベース)
(2016年1月初～2017年10月31日)



■国債: シティEMU国債インデックス、■投資適格社債: ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州投資適格社債インデックス、
■ハイ・イールド社債: ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州ハイ・イールド社債インデックス、■株式: ストックス・ヨーロッパ
600指数(配当込)、■REIT: S&P REIT欧州指数(配当込)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

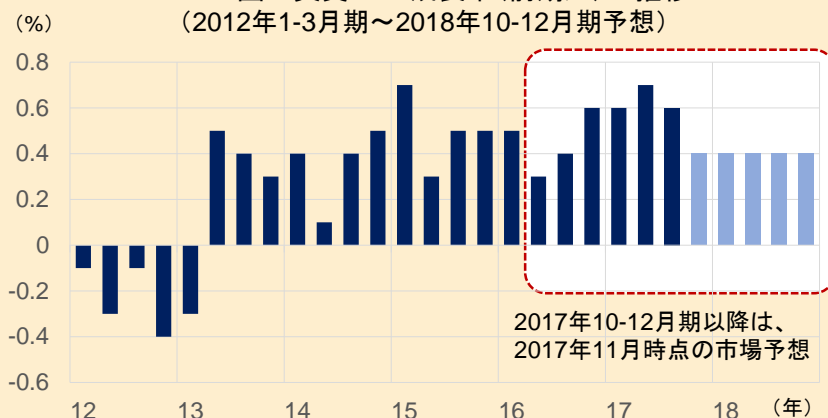
■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)(愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

回復基調を強め、明るさが増すユーロ圏経済

- ユーロ圏経済は回復基調が続いています。2017年10月以降、IMF(国際通貨基金)や欧州委員会が、欧州の経済見通しを上方修正しており、今後も持続的な成長が期待されています。
- 足元では、製造業の活動状況をみる製造業PMIが2011年以来の高水準、消費者信頼感指数が16年ぶりの高水準を更新するなど、企業、個人ともに景気への明るさを強めていることがうかがえます。2017年以降の企業業績は大幅増益が見込まれており、ユーロ圏経済全体において好循環が見受けられます。

安定感を強めるユーロ圏の経済見通し

ユーロ圏の実質GDP成長率(前期比)の推移
(2012年1-3月期～2018年10-12月期予想)



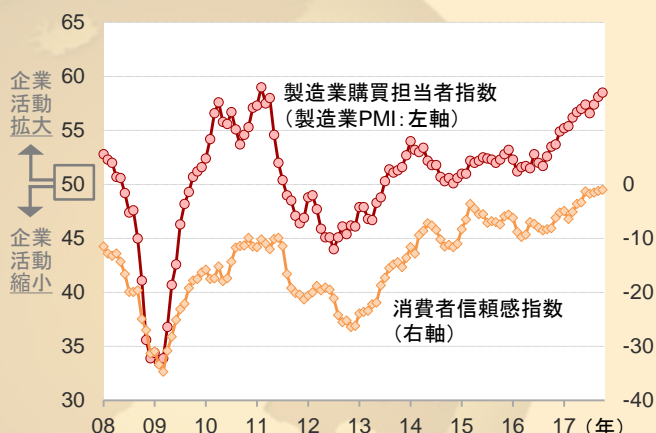
回復基調にあるユーロ圏経済は、
今後も安定成長が続く見通し

2017年10-12月期以降は、
2017年11月時点の市場予想

信頼できると判断したデータをもとに
日興アセットマネジメントが作成

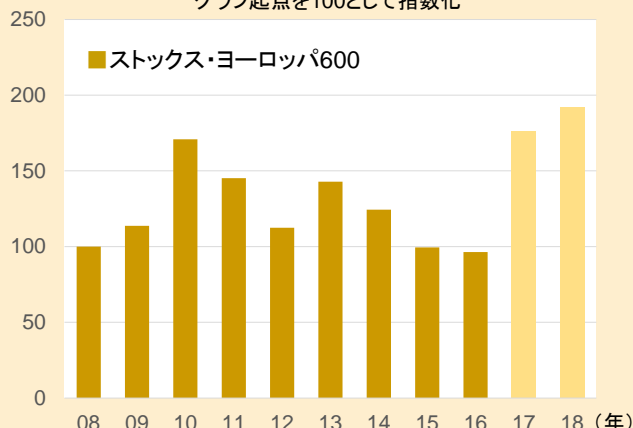
企業、個人とも景気の力強さがうかがえる 足元のセンチメント

ユーロ圏の経済指標の推移
(2008年1月～2017年10月)



良好な経済ファンダメンタルズを背景に、 業績拡大が進む見通し

欧州主要株価指数のEPS(1株あたり利益)の推移
(2008年～2018年予想)
グラフ起点を100として指数化



・2017年以降は、2017年10月時点の市場予想

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

注目高まるライジング・スター銘柄

- 安定的な景気回復・拡大は、企業の業績拡大や信用力改善につながることから、社債投資に適した環境と考えられます。こうしたなか、欧州社債市場では、投資適格級へ格上げとなる「ライジング・スター」が見込まれる銘柄への注目が集まっています。
- 社債の格上げの中でも「ライジング・スター」銘柄は、業績拡大期待などに加え、投資適格級入りに伴う新たな投資家からの資金流入期待などから、値上がり期待される傾向にあります。

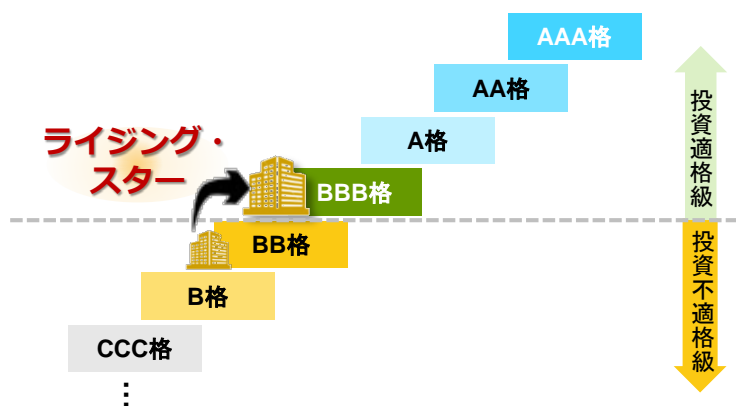
他の格付に比べて値上がり期待の高い「ライジング・スター銘柄」

ライジング・スターとは？

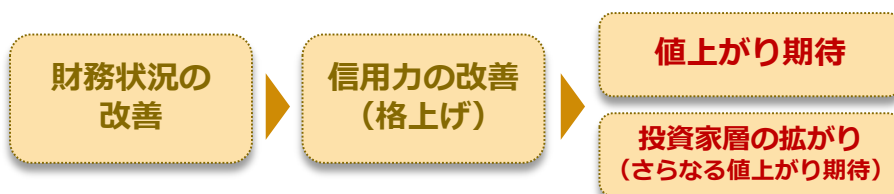
信用力の改善によって、投資不適格級から投資適格級に格上げされる社債銘柄のことをさします。

年金や保険、インデックス運用などを行なう機関投資家の中には、ガイドラインにより、投資適格級の社債のみで運用を行なうケースがあります。投資適格級に格上げされることで、これらの投資家からの資金流入も期待されることから、格上げされる前から期待感で買われる場合もあります。

なお、格下げによって投資不適格級となる銘柄は、「フォーリン・エンジェル(墮天使)」といわれます。



<ライジング・スター銘柄に期待されること>



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の
視点 ①

社債需要の強まりが期待されるユーロ圏

ECBの量的緩和継続は、社債の投資環境に追い風

ECB(欧州中央銀行)は10月26日、①資産購入の終了時期を2018年9月末まで延長するとともに、②2018年の資産購入額を月額300億ユーロに半減させることを決定しました。この決定は、市場予想の範囲内でしたが、**当ファンドにおいては、同時に発表された償還金の再投資に注目しています。**

ECB総裁は、10月会合後の会見で、2018年9月以降も現在の低金利水準を維持するとともに、資産購入で保有する資産のうち、償還を迎えた資産の再投資について、資産購入終了後も長期にわたって続けることを強調しました。これは、再投資部分を含めた資産購入が、今後も高い水準で続くことを示唆しており、今回発表された資産購入額の削減によって、市場の変動性が高まる可能性は低いと考えられます。一方で、資産購入減額の背景には、市場での国債購入が難しくなりつつあることもあり、**資産購入を通じた社債需要の強まりが追い風になるとみられます。**

＜ECBがこれまで行ってきた主な金融政策と決定内容＞

決定時期	金利政策	量的緩和政策	
		購入対象資産と購入期限	買入れ規模
2014年6月	主要政策金利を引き下げ、中銀預金金利のマイナス金利を導入		
2015年1月		国債などの資産を16年9月末をメドに買入れ	月額600億ユーロ(15年3月より)
2015年12月	中銀預金金利を引き下げ	地方債を追加 少なくとも17年3月末までに期限延長	
2016年3月	主要政策金利、中銀預金金利を引き下げ	ユーロ建て投資適格社債を追加	16年4月以降 月額800億ユーロに拡大
2016年12月		17年12月末に期限延長	17年4月以降 月額600億ユーロに縮小
2017年10月		18年9月末に期限延長	18年1月以降 月額300億ユーロに縮小

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

本資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の視点 ② 10年ぶりの利上げに踏み切った英国

Grand Marche

英利上げの影響は限定的とみており、これまで通り慎重姿勢で臨む方針

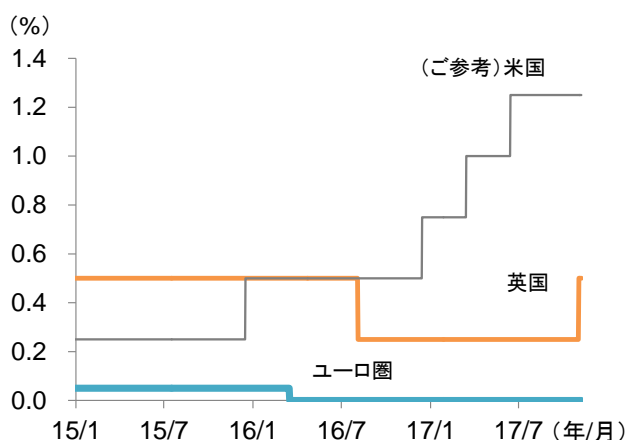
11月2日には英国で、イングランド銀行(中央銀行)がおよそ10年ぶりとなる利上げに踏み切り、政策金利を0.25%から0.5%へ引き上げました。会合後の声明では、「政策金利のさらなる引き上げは緩やかなペースで、かつ限定的となるだろう」とし、追加利上げについては慎重姿勢を強く示したことから、イギリスポンドが下落した一方、主要株価指数が最高値更新となりました。

今回の決定は事前予想通りだったことから、市場では大きな動揺はありませんでした。また、利上げ幅が0.25%とそれほど大きくなく、今後の利上げペースが緩やかとなることが見込まれることから、欧州社債市場にとって大きなインパクトがあるとはみていません。そのため、英国に対する投資スタンスはこれまで通り、ブレグジット(EU*離脱)の影響に焦点を当てながら、慎重姿勢で臨む方針です。

* EU: 欧州連合

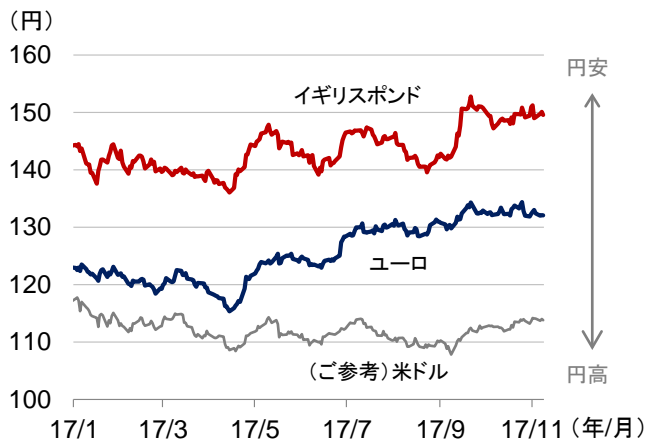
なお、今回の利上げが消費に大きく影響するとはみていませんが、クレジットカードや自動車ローンなどで、わずかながら消費者の負担増となる可能性があり、小売セクターに影響が及ぶ可能性があります。また、イギリスポンドの下落は、商品輸入に依存する小売業にとって、仕入れコスト増に伴う営業利益率の低下につながるなどから、当ファンドでは小売りセクターへの投資は控えています。

政策金利の推移
(2015年1月初～2017年11月7日)



米国はFFレート誘導金利
(政策金利誘導目標レンジの上限値を表示)

主要通貨(対円)の年初来推移
(2017年1月初～2017年11月7日)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

本資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の
視点 ③

入念な選別により投資銘柄を見極め

Grand Marche

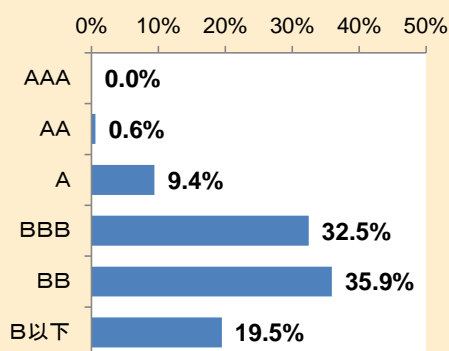
当ファンドでは、BB格～BBB格を中心に銘柄を厳選

フランスやドイツなどの欧州主要国では選挙が波乱なく通過し、政治リスクが後退するなか、景気回復基調の強まりと企業業績の改善は、欧州社債全般の投資妙味につながっています。特に、当ファンドが着目している「ライジング・スター銘柄」には市場でも認知度が上がりつつあるとみられます。加えて、足元の低金利環境は、企業の借り換えを促し、金利支払いの減少に伴う財務健全化につながっており、**相対的に低水準にある欧州社債のデフォルト率は、より低下するとが期待されます。**

このように、欧州社債を取り巻く環境は良好さを増しており、特に、当ファンドでの**ポートフォリオの6割強を占めるBB格～BBB格の銘柄は、ECBも主な購入対象とする高格付社債に比べて割高感がみられず、堅調な投資環境を背景に、値上がり益の獲得が期待できる**ことから、魅力的な投資機会が多く存在するとみています。ただし、ハイ・イールド社債は、財務や業績などの観点での銘柄の見極めが特に重要であることから、十分な銘柄選別によって、割安とみられる債券を発掘し、収益獲得に向けて運用を行なっています。

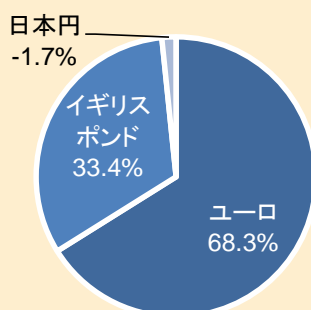
ポートフォリオ概況(2017年10月末現在)

格付別構成比率



※格付は、S&Pを採用しています。

通貨別構成比率



ポートフォリオの特性値など

- 直接利回り : 4.48%
- 最終利回り : 2.61%
- デュレーション : 5.04年

※利回りは、個別債券について加重平均したものです。
 ※最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

●当ファンドの主要投資対象である外国投資信託における数値です。
 ※構成比率の値は、当外国投資信託の純資産総額比です。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

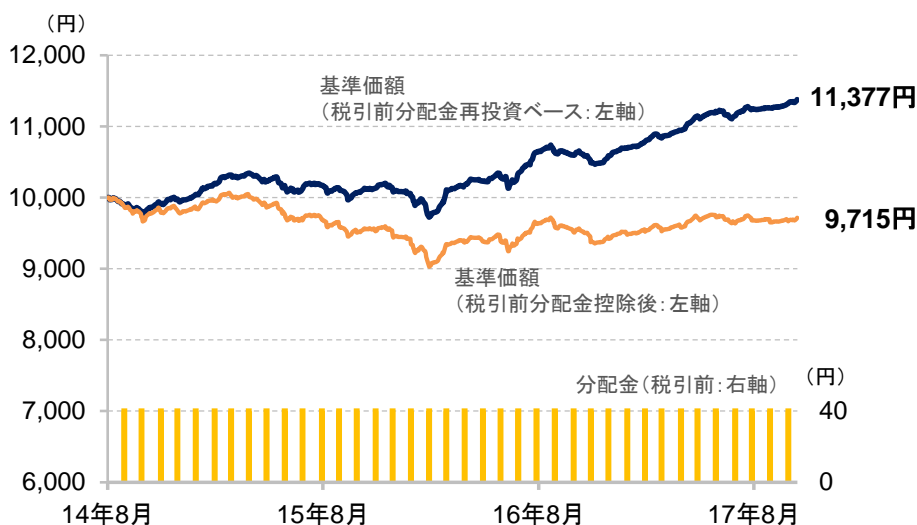
本資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

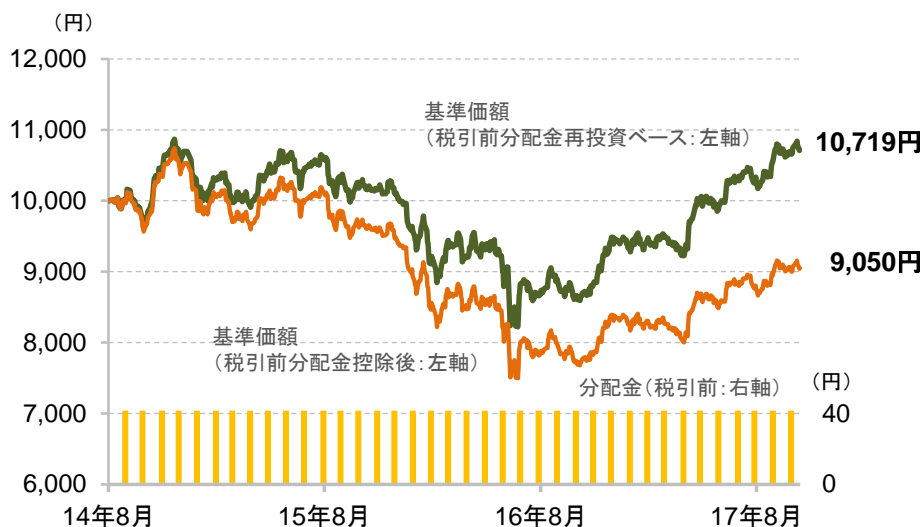
運用実績(2014年8月19日(設定日)~2017年10月31日)

Grand Marche

Aコース
(為替ヘッジあり)



Bコース
(為替ヘッジなし)



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金額は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 1 主として、欧州企業が発行する社債に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。
- 2 日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが運用します。
- 3 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。
- 4 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

ファンド
の特色

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

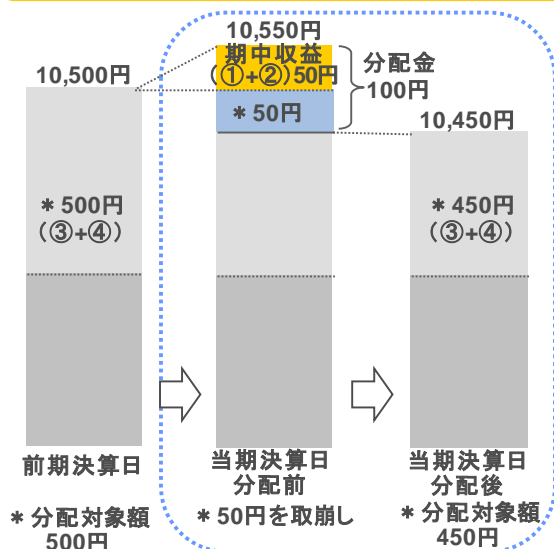
投資信託で分配金が支払われるイメージ



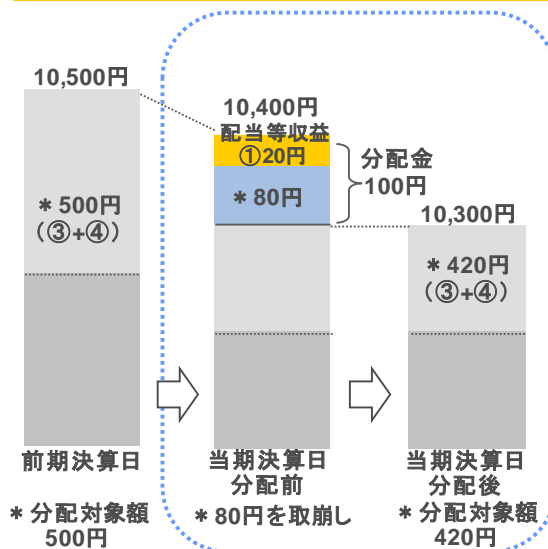
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



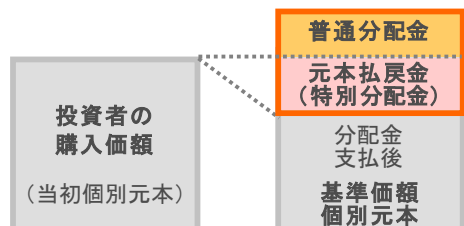
前期決算から基準価額が下落した場合



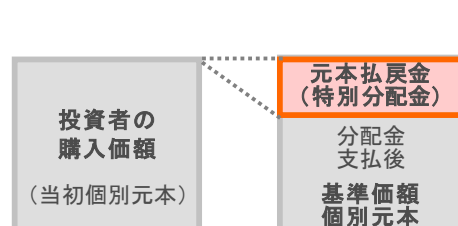
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様は「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、フランクフルト証券取引所の休業日、ルクセンブルグの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2029年5月15日まで(2014年8月19日設定)
- 決算日 : 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、フランクフルト証券取引所の休業日、ルクセンブルグの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い: 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.6444%(税抜1.57%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.0044%(税抜0.93%)、投資対象とする投資信託証券の組入りに係る信託報酬率が年率0.64%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。